

(学校運営協議会・報告様式)

令和3年度 第2回 鈴西小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和3年7月20日(火) 10:00～11:30

2 場 所 多目的ホール

3 あいさつ(委員長, 学校長)

(1) 委員長より

鈴西小が今年60周年であることを受け、鈴西小ができるまでの経緯等を説明していただいた。

また、新型コロナが一向に終息しないこと。子どものワクチン接種について、話題にされた。

最後に、新型コロナが早く終息し、子どもたちが学校で楽しく過ごせる日が一日も早く来てほしいこと、学校運営協議会では子どもを中心に据えて考えていきたいことをあいさつとして述べられた。

(2) 学校長より

○ 本日、8時45分より、動画配信という形で終業式を終え、無事に一学期が終了した。

○ 今後も課題は新型コロナウイルス感染症対策である。

二学期の行事が心配ではある。

中止することは簡単だが、できる方法を探りながら工夫し、できることを実施していきたい。

4 協議内容

(1) 教育活動の状況について

ア 学校長より学校だよりを使って説明

- ・ 今年度は4月からほぼ通常の行事を行うことができた。
- ・ 引渡し訓練について、密を避けて地区別の2部制とした。PTAの協力もあり、駐車場での混乱もなくスムーズに実施できた。

つい最近も大雨や雷で下校が心配な日があった。中学校区の小学校では、保護者への引渡しを行った学校もあったが、引渡しに2時間ほどかかり、引渡しの最後の時には、雨も止み青空の状態での引渡しとなったと聞いている。本校は、雨雲レーダー等でモニタリングをこまめに行い帰りを遅らせる対応を行った。訓練は必要だが、引渡しは最終手段と考えている。

- ・ 中学校区で家庭学習強化週間の取組を行っている。学年が進むにつれて、達成率が下がってきているのが気になり。また、児童の目標の立て方についても指導をしていきたい。

イ 協議内容

特になし。

(2) 留守番電話について

ア 学校長より趣旨説明

- ・ 第1回の時にお知らせをしたが、教職員の働き方改革の一環として実施する。9月1日に保護者宛の文書を出す予定。
- ・ 翌週の9月6日(月)から実施開始。留守番電話対応は18:00～翌朝7:30とする。

なお、対応時間が18:00からとなっているが、職員の勤務時間は17:00までなので、職員は退勤し、不在の場合があることを保護者には伝える。

イ 協議内容

特に異論は出ず、承認された。

(3) トイレ洋式化について

ア 学校長より説明

- ・ 現状は児童の男女トイレに1つずつしかない。
- ・ 市内小中学校で順次改修を行っている。本校では11月より改修に入る。本校は校舎がオープンスペースで特殊なつくり、配置となっている。そのため、トイレが使えない間どうしていくのか市教委と協議をしていく必要がある。また、体育館のトイレも改修に入るため、施設開放の活動にも影響が出てくる。

イ 協議内容

特になし。

(4) 校地西道路整備について

ア 学校長より説明

本校西門前の横断歩道から北側について、路肩がなく、グリーンベルトを引くことができない。また、排水溝のふたの上を通学している状態で非常に危険である。鈴西小学校西交差点から西門前の横断歩道までを広げてもらうように自治会や市に動いてもらっている。

また、深溝や京新田の通学路となっている学童前の道についても狭くて水はけも悪いため、広げてもらいたいが、地権者が多いため広い道路が優先となっている。実際、登校のことで地域の方から電話をいただいている現状もある。

イ 協議内容 (○：委員の発言 ▲：回答等)

○	地区の方で、通学路の白線が消えているところがある。引き直してもらおうことなど、学校から働きかけをしたもらった方がいいのか？
▲	自治会から働きかけをしてもらった方がいい。 最近も、小学生が巻き込まれた交通死亡事故があり、このことを受け、視点を変えて職員と危険箇所の再点検を行った。4月に報告した箇所に加え、新たに十数か所追加し、教育支援課に報告をあげた。
○	PTAの全員協議会で地区委員が話をし、自治会からもあげてい

	きます。
○	以前は、通学路の危険箇所について、教育支援課の前の青少年課があげてくれていたが、どうなのか？
▲	今は、教育支援課が直接働きかけることはない。学校等からあがってきた報告については、交通防犯課に話をする。ただ、道路については、例えば、横断歩道は警察の管轄、白線の管轄は違うところ、国道、県道、市道で管轄が違うなど、複雑である。 ただ、要望等については、学校、自治会両方からあげていくといいと思う。
○	通学路で通学時間にトラックがスピードを出して走っている。地区では、役員が見守りをしている。路肩の白線が切れているところがありやはり危険である。
▲	交番（ここでは久間田になるのか石薬師になるのか？）と連絡を密にしていくといい。通学の時間帯にパトカーに止まっていてもらうなどの対応をしてもらえるといい。
○	今回、痛ましい事故があったが、このようなことをきっかけにしっかり見直していけるといい。
▲	学校と地域の両方から市等の関係機関に働きかけをしていく。

#### (5) 2学期の行事について

##### ア 運動会について

##### (ア) 教頭より説明

- ・ 別紙資料のように9月18日(土)に実施する。
- ・ コロナ禍のため、学年部で分散開催する。

ただし、昨年度の反省を活かし、開会式、閉会式は動画配信で一斉に行い1回で済ませる。その分、各学年部の競技時間を短縮することができる。また、参観者について、昨年度のお知らせでは祖父母の参観について分かりづらかったと保護者の方からご指摘があったことを受け、参観は保護者と同居家族、県内在住の祖父母と明記した。

##### (イ) 協議内容 (○：委員の発言 ▲：回答等)

○	運動会について、去年もコロナ対策で分散開催だったが、1日かかっていた。今年の予定では、競技は午前で終わる。各学年部が行う競技を減らしたのか？
▲	昨年度は各学年部の時間を取りすぎたとの反省があった。そのため、低学年部の児童が午後の時間とても疲れていた。このことを受け、時間を短くし、下校時の安全を考え、低学年部の児童もなるべく一緒に下校できるように考えた。 時間を短くするために、開会式、閉会式をオンラインとした。オンラインで行えば、1回で全学年に配信できる。各学年部の児童を集める時間も削ることができる。 時間は短くなったが、競技は前年と同じだけ行う。

## イ 森のまつりについて

### (ア) 教頭より説明

- ・ 別紙資料のように11月13日(土)に実施する。
- ・ 60周年行事も兼ねて行う予定。ただし、コロナ禍のため来賓を招待し、体育館に全校集まり大掛かりな式典を行うことはしない。代わりに、西部合唱団を招待し、学年部で分散し、鑑賞する形を取る。
- ・ 合唱団の鑑賞以外は、昨年度のようにたてわり班で各コーナーをまわり体験活動を行う。

### (イ) 協議内容

特になし。

## 5 情報交換・その他

- (1) 鈴峰中学校区の夏季人権教育研修会を8月3日(火)にオンラインで行う。
- (2) 第12回ラジオ体操の会について、8月7日(土)に今年度もコロナ禍のためステイホームでの実施となる。
- (3) 児童アンケートについて

1学期末に学校評価のための児童アンケートを行った。集計結果を提示する。この結果を分析し、改善策を考え2学期の取組を行う。2学期末に再度実施し、改善具合等を分析、自己評価し課題を洗い出し、さらなる改善を行う。

## 6 教育支援課 杉谷先生よりご講評

- ・ 引渡しについては、保護者も仕事を持っており、なかなか引渡しができない児童もいる。そのため、雷や雨雲が去って青空になってからの引渡しになった経験がある。情報をこまめにチェックし、学校に児童を待機させるとともに今回鈴西小が取ったように状況をメール配信し伝えるのも有効だと考える。
- ・ 感染症のため、行事等が軒並み中止となっているが、子どもは体験や経験を通して成長していくものである。中止することはあまり子どものためにはならないので、前向きに考え、できることを探りながら前向きに実施して欲しい。
- ・ 総合教育会議で地域と学校運営協議会が合わせてやっている、鈴西小の取組を市長に報告した。学校だけ、地域だけでなく、子どもたちのために一緒に進んでいくことが大事である。